

ひたすら彼に憧れる。が正しい。

アラン・ホールズワース。

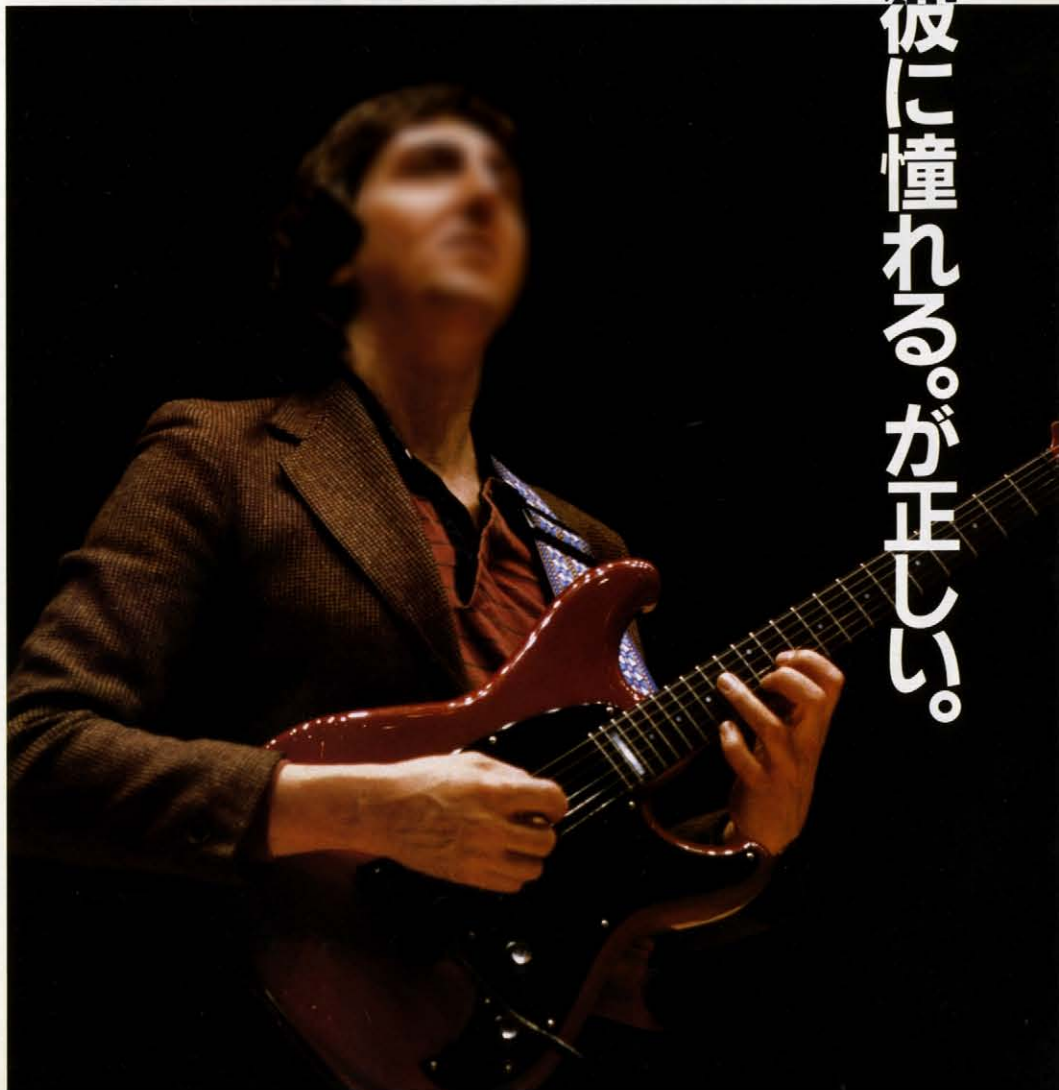
「音楽家」と年々ギタープレイヤーの筆頭のアラン・ホールズワースだろうと思われ。彼のプレイを前に立ってじっと目をこらして観察していると、フィンガーボードの上を大きなタランテラが、悠然とあたりをうかがいながら歩き回っているようだ。そして、時々、予告もなく、ツツッとは、懸賞足になったり、スッと音もなく飛びはねる。これは、ちょっとした経験だった。

サウンド・クリエーションにも、実に深い知識を披瀝して、専門用語が飛び出す。彼の独自のサウンド観が、徹に入り細を採突しはじめるのだ。たか一本のエレクトリック・ギターであれほどの広大な音宇宙を構成してしまふ男なのだからね。あたりまえといえは、あたりまえなのか。さて、そんな「ミュージシャンズ・ギタリスト」のカンパニオンから、ヌットと

ALLAN HOLDSWORTH



◆アラン・ホールズワース自身の左手。



◆AH Specialピックアップは、AHサウンドの要。スペシャル・コイルのコイルを洋白のプレートにオン・パラフィン塗漆を2回施した通りの良い鳴りが得られます。

姿を表わしたのが、アイバニーズ・A H 10。フロのミュージシャンの感が日まじしに高まる、という奇妙なホビュラリティ・ポウトのあり方にも表われているように、「ザ・シンプリシティ・オブ・ベスト」のクオリティ重視を徹底した面がまえ。



◆トーンチェインバー加工はピックガードの下に大きなサウインド・ホールを開けることで、鳴りと共振、そしてごく繊細な残響を与えてくれます。

ピクサーなんかには、ちょっと、下のクラスのギターに見えるかもしれない。しかし、これが、本来のエレクトリック・ギタ

ーなのだ。弦を弾くことで、ヴァイブレーションのアレも削出し、P.U.でそのノイズを拾い上げ、電気信号が音の要素を翻訳して空気中に放つ。そのシステムをツクる各セクションが、明確かつ微妙に調整されて、超エリートなのだ。だから、そのエリートたる部分の説明は困難。無理なのだ。単純明瞭なハイツ構成と、厳格なコンストラクションの規準があるだけだから、手にとって、御自分の個人的なフライリングのトランジットに評価を委ねてほしい。ただ、ひとつだけ、特徴的なことは軽さ・ライトウェイトを完璧にすること、ひとつは、ハカリにかけられ、ボクサーの計量のように、重さをチェックする「ハハーン」とうなすくシャープな感受性をおもちの方なら、これからトラップからくるプレッシャーへの対抗策だけじゃないなど、なるはずであります。



◆Powerocker Customトレモロ。Powerockerトレモロを基本に、軽量アルミブロックの採用と、10.1mmのストリング・ピッチが特徴。

AH10 ¥98,000
COLOR BY BK,WH
ORDER COLORS RST20C
HARD CASE ¥12,000
SHOULDER BAG 4005G ¥9,000

FEATURES
Selected light weight
Basswood body, Maple one
piece neck, 22 frets (Jim
Dunlop #6100) Ebony
fingerboard, 25.5 inch
scale, Smooth Toner II me-
chineheads, Powerocker
Custom tremolo, Two AH-
Special pickups, One
volume and one tone con-
trols.

AH20 ¥110,000
COLOR BY BK,WH
ORDER COLORS RST20C
HARD CASE ¥12,000
SHOULDER BAG 4005G ¥9,000

FEATURES
Selected light weight
Basswood body, Maple one
piece neck, 22 frets (Jim
Dunlop #6100) Ebony
fingerboard, 25.5 inch
scale, Smooth Toner II me-
chineheads, Powerocker
Custom tremolo, Two AH-
Special pickups, One
volume and one tone con-
trols.

COLORS/ BK = Solid Black, BY = Burgundy, WH = Solid White